

## 令和元年度第4回経営会議概要

- 1 開催日時：令和元年7月18日（木）9:00～9:10
- 2 開催場所：プレゼンテーションルーム
- 3 議事概要：以下のとおり  
（●議題提出部局説明・回答、☆意見・質問）

### 議題1 「みえ県民カビジョン・第三次行動計画（仮称）」の策定について

#### ●中野課長【企画課】（資料1-1、1-2、1-3、当日追加資料に基づき説明）

第三次行動計画は、当日追加資料のとおり、全体の構成を考えている。

資料1-1は、そのうちの第1編の第2章において述べたいことをまとめている。第三次行動計画においては、「県民力でめざす『幸福実感日本一』の三重」の社会像を、改めて「三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会」ととらえた上で、新しい概念の「Society5.0」「SDGs」の視点を取り入れて、その実現を目指すこととしている。第1節では、「三重県らしい、多様で、包容力ある持続可能な社会」について整理したうえで、第2節ではSociety 5.0、第3節でSDGsについて説明している。そのうえで、第4節では、Society 5.0の4つの視点、SDGsの3つの視点について記しており、これらの視点を施策展開の拠りどころとしていくこととしている。

資料1-2は、次期行動計画の中間案原稿のイメージである。現行動計画との相違では、SDGsのゴールをアイコンに入れていくこととしている。また、「令和5年度の到達目標」は「県民の皆さんとめざす姿」に、基本事業の取組内容については、「取組方向」にまとめていくこととしている。

資料1-3は、9月の中間案提出までのスケジュールであり、本日から県・市町職員向けの説明会を開催していく。

#### ☆大橋子ども・福祉部長

協創の視点に加えて、Society 5.0 および SDGs の視点により、ということだが、Society5.0は「社会経済のシステム」と捉えると、協創の視点に加えるというのに違和感がある。システムということなので、加えるというより、実現するためのツールの一部ではないかと思うが、その点の整理はどうか。

#### ●中野課長【企画課】

Society5.0やSDGsの視点は、おっしゃるとおりツールの一つという考えであり、どういう切り口で捉えるかということだと思う。システムとして丸ごと導入するというよりも、システムの中にある視点を取り出して、行動計画の中に取り込んでいきたいと考えているが、表現が分かりにくいということであれば、考えさせていただく。

### 議題2 時間外勤務実績の状況について

#### ●紀平総務部長（資料2に基づき説明）

6月末日時点の時間外勤務時間実績について、かなり目標をオーバーしており、前

年度6月末時点の実績と比較しても増えている状況にある。今年度が（WLMの）目標の最終年度となっているが、このまま推移していくと目標達成が厳しい状況である。総務部でもレク資料の見直し等により、事務量の削減に努めているところであり、今後、各部局においても業務の見直しや年間を通じた時間外勤務の平準化など、目標達成に向けた工夫をお願いしたい。

（質疑等なし）

以上